

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
心理学基礎実験		高橋 彩	演習	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	心理学の重要な研究方法の 1 つに、実験法がある。心理学実験の代表的なテーマについて、実験の実施、データの整理、レポート作成を通して、心理学の知見を深め、測定法を理解する。							
到達目標	①データ収集、データの分析、レポートの作成を通して、レポート作成に必要な態度とスキルを身につける。 ②心理学の実験を通して、科学としての心理学についての理解を深める。							
回	学習内容							
1	実験法とは何か レポートの書き方							
2	ミュラー・リヤーの錯視（データ収集、レポート作成）							
3	ストループ効果（データ収集、レポート作成）							
4	記憶の二重貯蔵モデル（刺激作成とデータ収集）							
5	記憶の二重貯蔵モデル（レポート作成）							
6	集団意思決定（集団討議、レポート作成）							
7	大きさの恒常性（データ収集、レポート作成）							
8	大きさの恒常性（レポート作成）							
9	パーソナルスペース（データ収集）							
10	パーソナルスペース（レポート作成）							
11	鏡像描写（データ収集）							
12	鏡像描写（レポート作成）							
13	視覚探索（データ収集）							
14	視覚探索（レポート作成）							
15	パーソナリティテストの実施（YG テスト、バウムテスト）							
予習内容 復習内容	予習：実験テーマに関連する用語を調べる。 復習：考察に使用する資料を探しておく。							
教科書	教科書は使用しない。課題ごとに資料を配布する。							
成績評価	授業内の課題の取り組み（50％）と、レポートの内容（50％）によって評価する。試験は行わない。							
実務経験								
その他 特記事項	演習はグループで行うものが多いため、遅刻・欠席は厳禁。レポート作成は授業時間内に行うが、欠席した場合は、課題レポートは宿題とする。すべての課題レポートを提出することが求められる。							